

令和4年3月17日

運営推進会議定期報告書

概要：新型コロナウイルス感染拡大防止対策の取り組みとして、令和4年3月運営推進会議を中止とし、定期報告事項をまとめました。

報告事項：前回運営推進会議からの取り組み

① 入居者様の動向

- ・93歳女性 左臀部に蜂窩織炎、病院受診し抗生剤内服によって治癒。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、入居者様の家事活動（調理）の中止、食堂テーブル上に仕切りを設置中。
- ・面会は中止をしています。又、限定的な外出として、職員同行により専門医療機関の受診を行っています。
- ・行事報告（令和4年1月30日以降）

＜老健合同＞

感染症拡大防止の為中止。

＜グループホーム＞

2月1日 入居者様誕生会（希望メニュー 煮付け提供）

2月3日 節分行事

3月3日 ひな祭り

3月8日 入居者様誕生会（希望メニュー 煮物提供）

② ちゃんまいろ紹介

別添「ちゃんまいろ」250号、251号ご確認ください。

③ ヒヤリハット報告

今回、令和4年1月26日から令和4年3月10日まで分につきましてはヒヤリハット件数1件でした。

詳細につきましては別添「ヒヤリハット報告書」をご確認ください。

④その他

◎前回会議報告の際に頂いたご意見およびご質問への回答

○糸魚川市福祉事務所介護保険係様より

- ・12月に実施された避難訓練について、想定や課題の他、写真も掲載した資料にまとめていただいたことで訓練の様子等内容をわかりやすく知ることができました。あげられた課題について、災害発生時に備えて準備を進めていただくようお願いします。

[回答]グループホーム

- ・今回の防災訓練は集中豪雨を想定し行いました。気象予測の発達による長期予報の精度向上。各種メディアでの防災情報の公開、周知が発達してきており、備える時間が出来るようになったと感じます。しかしながら地球温暖化が要因と思われる気象災害の増加、激甚化が進んでいますので、非常時の対応がスムーズに行えるよう準備して参ります。

○地域包括支援センターよしだ様より

・活動状況について

防災訓練お疲れさまでした。

訓練で得られた課題を次の機会に活かして頂けるよう期待しております。

コロナ感染者が市内でも出ており、感染防止対策についてもより気遣って頂き大変かと思いますが宜しくお願い致します。その中でもお誕生会でご本人の希望する食事を準備する等、工夫と心遣いを感じます。また、季節やイベントに配慮した行事を計画している事にも温かみを感じます。

・ヒヤリハットについて

今回のヒヤリハットの6件中4件が同じ利用者とのことで、結果的に車いす対応になったこと残念に思います。

ヒヤリハットの発生時間、靴の履きつぶし、センサーの反応など共通点があり、もう少し要因や背景を分析することで「車いす利用」以外の対応策が見いだせないものかと思えます。また、4回起きているということは、事故につながるリスクが高いと思えます。車いすにすることで歩行機能がさらに低下することも心配されます。発生時間が夜勤帯で、手薄な状況でヒヤリハットが発生しやすいと思えます。リスクをご家族とも共有して頂くこともリスク管理として必

要ではと感じました。

また、認知症で不穏状態が続く時は、より危険が潜んでいるかと思
います。避けられない事故もあるかと思いますが、最小限に食い
止められるよう宜しくお願い致します。

[回答]グループホーム

- ・感染症対策としてパーティー等を使っていますのでコロナ禍以
前のようにはいきませんが、屋内での生活を楽しんでいただきたく
誕生会、行事等を企画しています。ご評価いただきありがとうございます。

- ・ヒヤリハットにつきましては、転倒が複数回みられた入居者様の身
体状況につきまして補足させていただきます。

以前はシルバーカーを利用し一人で歩行されていましたが、左手の
拘縮が進行して両手を使ってシルバーカーを押すことが出来ず、片
手押しが顕著になってきたため、付き添いにて歩行をしていました。
次第に転倒の事例が増え始め、付き添いで利用していたシルバーカ
ーもバランスがとれず「おっかない」と歩行中断が見られるよう
になりました。

そのため安全の確保と、安心できる移動手段として車イスにて対応
することになりました。

状況を分析する要因として重要な要素である、片手の拘縮について
情報が明記されておらず申し訳ございませんでした。

ご指摘の通り、歩行機能もしくは下肢筋力の維持が今後の課題とな
っており、その点につきましては、食事の際は椅子へ移乗していただ
く等下肢を動かす機会を設けていくこととなっております。

○ご家族様より（※頂いたお手紙より抜粋）

- ・先月の報告書拝見しました。保育園の子供達との交流などすでに実
施していたのですね。

家庭的な状況を維持しながらの感染対策はまさに戦いの日々なのだろ
うと思います。介護の人の誠実な人がらと仕事に対する真摯な姿勢が
いろいろな文面からも伝わってきます。

ちゃんまいろの写真を見ていると笑顔は安心から生まれるのだと思
います。高齢者は少しずつ体の自由が奪われるので意欲も失われていき
ます。今できる事を見つけ楽しみや達成感を味わえるように切れ目な
くサポートしてもらっていることに感謝しています。

今回市の担当者様に二点お願いがあります。

一点目はオミクロン株の急激な感染拡大に施設の自主的な努力だけでは限界があります、市などの自治体が高齢者施設の連携を促す為に積極的にリーダーシップを発揮することが大切だと思います。

二点目は、利用者家族は皆、質の良い介護を望んでいます。昨今働き方改革が話題になっていますが何よりも必要なのは介護職の方の労働条件を改善することに尽きると思います。不適切な言動が起きるのは疲労がピークの時です、介護現場では業務が多すぎ休憩がとれなかったり、残業が日常化しています。清掃や消毒などサポート的な人を導入する。人材の確保や定着を図るため介護現場の映像を学校やイベントなどで見せ介護職への理解を促す。など現場を支援してほしいと思います。これは介護職の知人の話や実母がお世話になった市内の施設を見て思ったことです。

私のような素人のいち家族が生意気なことを言って申し訳ありませんが行政の方にお問い合わせできる機会なのでこれからも思ったことを発信していきたいと思います。

[回答]グループホーム

人が日常的に触れ合う家庭的な環境と、接触を最小限にする感染対策は両立が大変難しいですが、入居者の皆様にも何とかご理解いただき実施しているところです。

入居者の皆様には、できることが少なくなっても、自分がここにいてもいい、必要とされていると感じ、張り合いや生きがいをもって暮らして頂きたいと考えています。

写真の一場面からでも感じていただけたなら大変うれしいです。

今後もわずかな家事や作業でも言葉や笑顔で感謝を伝え、生きいきとした暮らしを提供して参りたいと思います。

以上